

## 2017年度海外客員研究員共同研究活動報告書

2017年8月20日

海外客員研究員 高延軍(河南科技大学経済学院准教授)  
受入教員 金澤孝彰(本学経済学部教授)

高延軍河南科技大学経済学院准教授は、同学院国際経済・貿易系主任である以外に、河南省認定シニアコンサルタントとしても活動している。昨年9月に、築田優准教授との中国調査研究出張で洛陽を訪問した際に、高准教授と面識を持ったのが最初であった。

高准教授は、中国科学院の成都山地災害・環境研究所にて地理学を専攻されていた学歴も有しており、その視点から、中国経済に関して空間経済学的に捉える金澤との問題意識に共通するものがあり、此度の共同研究者としての客員研究員として迎え入れることとなった。

高准教授は2017年7月9日に来日、翌7月10日に和歌山大学に到着した。以降、8月20日までの滞在期間中に主に以下のような活動を行った。

### ・2017年07月28日

経済学部学生向け講義（金澤担当前期金曜1限科目「現代中国経済論」にて河南省の経済事情を中心とした近年の中国経済の概説：使用言語は英語）

### ・2017年08月10日

和歌山大学経済学部地域・国際連携オフィス主催共同研究会での講演(使用言語は英語)  
中国では現在、「一帯一路」をスローガンにしたユーラシアを経済的に結びつける構想が推進されている。この構想の現状と、それを資金的にサポートするAIIB(アジアインフラ投資銀行)との関連性について、まず金澤の方からとくに中国の改革開放以降の地域経済開発戦略から問題提起を行った。その後、高准教授からメイン報告を行っていただき、フロア(経済学部スタッフ)との意見交換を行った。

なお、これらの活動以外に本学大学院経済学研究科に在籍している中国人留学生院生との研究交流も行った旨、高准教授からうかがっている。

今後は、共同研究の成果を紀要共著論文としてまとめることも検討している。

以上。

(文責 金澤孝彰(受入教員))